

EVE MA LanScope Catと連携したシステム展開

copyright © MOTEX Inc. All rights reserved

LanScope Catと連携したシステム展開方法

Catでドライバをインストールし、 EVE MAを利用可能な状態に!





EVE MAクライアントを LanScopeCatで配布インストールする手順

copyright © MOTEX Inc. All rights reserved

- EVE MA クライアントをインストールする流れ
 - ドライバと、EVE MA クライアントの2つを配布インストールします。
 - EVE MA クライアントについては、配布用のMSIファイルを抽出する作業が事前に必要です。
 - 配布インストールは、LanScopeCat Ver.8.2で追加された「アプリや ファイルの配布」機能で行えますが、それ以前のバージョンのことも考 えて従来からある「パッケージ配布」機能を用いた例を記載します。
 - 本資料では、64bitOSに配布する例を記載します。32bitの場合は配布 するファイルが異なるので置き換えて実施してください。

配布前の事前準備

- EVE MA クライアントのMSIファイルを得る
 - 任意のフォルダでコマンドプロンプトを使用して、
 Software¥x64¥clientにある、MAClient_x64_x.x.x.xxxxx.exeを、パ
 ラメータ /a を付与して起動します。
 - 「EVE MA Client All Products Installer.msi」が出力されるので、
 ファイルに含まれる半角空白文字を削除し、
 「EVEMAClientAllProductsInstaller.msi」としてください。なお、
 「program files」フォルダ、「Windows」フォルダも使用するため、削除しないでください。
 - Driverフォルダと「EVEMAClientAllProductsInstaller.msi」、「program files」フォルダ、「Windows」フォルダをファイルサーバーの共有フォル ダにおいてください。これを配布対象とします。

- パッケージの作成①
 - 配布対象物「パッケージ」を定義します。
 - コンソールのツールボタン「配布」をクリックし、表示されるメニュの
 中から、「パッケージの作成」を選択してください。
 - パッケージ一覧画面が表示されるので、右下の追加ボタンを押してください。

😼 LanScope Cat - コンソール	- 2 ×	א LanScope Cat - ⊐>>−ル	- ~ ×
クライアント ポリシー設定 環境設定	7ክታንት 🔳 ? 🕀 🛠	クライアント ポリシー設定 環境設定 アカウント キャー 国]?⊕ ጵ
資産 ログ 配布	回 戶 資業 資素 益 出線 以王一卜 構成変更 指統USB債額 Fx47/清朝	通信 回 回 ●	
Q 🛛 🌐 ネットワーク全体 [2]	芭尼布 更新プログラム、各種ファイル、ポップアップメッセージ・アンケートの配布、実行設定ができます。	Q () パッケージー覧 日 御 ネッドワーク全体 [2] パッケージの一覧です。	
🗷 🚅 100 [2]	🔎 アプリやファイル 🎐 メッセージ・アンケート	0 🖬 100 [2]	G>
	> 配布物の作成 > メッヤージ・アンケートの配布	パッケ 詳細 パッケージ名 設定日時 利用割	2 編集
	 > クライアントへの配布 > 新規グライアントへの配布設定 > 中継端末の設定 > 中継端末の設定 > クライフントへのダウンロード設定 	7-5/09/829	
	🎐 旧配布設定		
	> 更新プログラムの配布		
	> ファイル配布グループの設定		
	> ファイルの配布	<	>
	 > パッケージの作取 > パッケージの配布 	0 @	
	> 旧次ッセージ・アンケートの配布	削除	追加
1		5	



- ・ パッケージの作成②
 - パッケージの追加というウィザード画面が表示されます。
 - パッケージ名を入力してください。例ではEVEMAとしています。その 後「次へ」を押してください。
 - 配布対象のファイル群を置いたファイルサーバーの共有フォルダのパス を指定し、「フォルダーの読込み」を押してください。すると、下のグ リッドに配布対象のファイル群が表示されます。その後「次へ」を押し てください。

😼 LanScope Cat - 379-14	🕐 🗙 🖓 Lan Scope Cat - 3029-14 — 🖉 🖌
クライアント ポリシー設定 環境設定 アカウント ▲ ~ 目 3	
画 画 一 通	資産 ログ 配布 通源 リモート 構成変更 接続USB情報 ドメイン情報
Q ◎ # 100 [2] © # 100 [2] Ø # 100 [2]	Q ◎ ● ネットワーク全体 [2] ◎ ● 100 [2] / バッケージの追加 ビークシーシーク全体 [2] マークシーク全体 [2] マークシーク全体 [2] マークシークシークシークシークシークシークシークシークシークシークシークシークシー
配布形式: ● フォルダーを配布する 複数のファイルをご配布します。 つ ファイルを配布する コンだけファイルを配布します。	フェルターの結えか Q No ファイルパス 1 ¥192.158.104.10¥個人¥ TestYEVEMA¥ 2 ¥¥192.158.104.10¥個人¥ TestYEVEMA¥ 3 個 ご 合計ファイルサイズ: 144.7 MB.



- パッケージの作成③
 - 配布先の場所を指定してください。例ではMRフォルダーに、EVEMAというフォルダを作るように指定しています。その後「次へ」を押してください。
 - クライアント端末がファイルサーバーの共有フォルダにアクセスするための設定を行います。クライアント端末にログオンするユーザーがファイルサーバーの共有フォルダにアクセスできない場合は、「ファイルサーバーへのアクセスアカウント」を指定してください。その後「次へ」を押してください。

🖓 LanScope Cat - コンソール	- 2 ×	😼 LanScope	Cat - コンソール						- 2 ×
クライアント ポリシー設定 環境設定	ፖስታንት 🚨 ? 🖶 🛠	クライアント	ポリシー設定	環境設定	アカウント				± -
資産 D/3 配布	画 (火) (ル) 電源 リモート 構成変更 接続USB情報	資産	マ ク	國 配布	じ し し し し し し し し し し し し し し し し し し	(大) 構成変更	接続USB情報 ドメイン情報	報	
Q 回	 	日 🌐 秋	トワーク全体 [2]	Q	⑦ パッケージ・ パッケージを作成	の追加 、 ^{編集します。}			
₩ ₩ 100[2]	パッケージ 配布 実行 通知	±.	100[2]		パッケージ		記布	実行	通知
	配布 (2 / 3)				配布 (3 / 3)				Î
	配布先: MRフォルダー v ¥ EVEMA				ファイルサーバーへのフ	ウセスアカウント			
	スケジュール:				ファイルサーバー	にアクセスできなか	った場合に使用します。		
	 すぐに配布する 				ユーザー名:				
	○日時を指定する				パスワード:			ି	
	応布日時: 2016/03/04 → 00:00				オプション:				
	上書き条件:				✓ вітsサ–Ľ	スが無効の場合、	自動的にサービスを開始する		
	● 常に上書きする				配布後の日	DD空き容量で制	限する		
	○更新日で上書きする				● 指定	ナイズを下回る場合	含は配布しない		
	○上書きしない				空き	容量: 10	000 🕄 MBJ以下		
					● 一定(D割合を下回る場	合は配布しない		~
	<前へ 次へ> 設定 キャンセル						< jj	前へ 次へ>	設定 キャンセル
Ì	and the second sec								24

- パッケージの作成④
 - 実行するファイルを指定します。本画面はウィンドウを全画面にすることで設定しやすくなります。
 - ドライバーのインストーラー(共有フォルダパス¥Driver¥x64 ¥HybridFingerprintにあるValiditySensorsSetup_X_X_XXX_X.exe) にチェックをつけ、「追加」ボタンを押して右グリッドに移動させます。
 - EVE MA クライアントのインストーラー(共有フォルダパス ¥Software¥x64¥clientにあるEVEMAClientAllProductsInstaller.msi) にチェックをつけ、「追加」ボタンを押して右グリッドに移動させます。





- パッケージの作成⑤
 - 実行するファイルの詳細設定を行います。グリッドの1行目のファイル について、グリッド右端にある編集ボタンを押してください。
 - ValiditySensorsSetup_X_X_XXX_X.exeの、実行パラメーターを「<
 配布ファイル名> /s」としてください。/s の前には半角空白が必要です。
 - OKボタンを押してください。

🖓 LanScope Cat - コンソール	- 2 ×	Generat - ⊐>V−J↓	- 2 ×
クライアント ポリシー設定 環境設定	ፖክዕント 🚨 - 🖉 😫 🔦	クライアント ポリシー設定 環境設定 アカウント	▲ - 🗐 ? 🕀 🛸
資産 ご 1	画 (※) <th(※)< th=""> <th(※)< th=""> <th(※)< th=""></th(※)<></th(※)<></th(※)<>	画 画 (****) (*****) (******) (************************************	
Q 日 御 ネットワーク全体 [2] 世 単 100 [2]	・ パッケージの追加 パッケージ・作用し、補単します。 パッケージ ・ プロ・ジェーク ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	() まかいうーク全体 [2] (2) (2	
		<	ОК ++>t/L



- パッケージの作成⑥
 - グリッドの2行目のファイルについて、グリッド右端にある編集ボタンを押してください。
 - EVEMAClientAllProductsInstaller.msiの、実行パラメーターを「/i < 配布ファイル名> /quiet /norestart」としてください。/i の後、/queitの前、/norestartの前には半角空白が必要です。
 - 実行するタイミングを60秒後にしてください。
 - OKボタンを押してください。

97072h 100 - 22	🖓 LanScope Cat - コンソール	- 2 ×	🖓 LanScope Cat - コンソール	- 2 ×
	クライアント ポリシー設定 環境設定	アカウント 1 ? ● 余	クライアント ポリシー設定 環境設定 アカウント	▲ ~ 🗐 ? 🖲 🛠
(・) パックージの追加 ハゥージの追加 ハゥージー マージー マ	資産 ログ 配布	画 画 検索 企 電源 リモート 構成変更 接続USB情報 F>/1/消報	図 図 図 ●	
バックージ 股市 実行 運用 アイル名: EVEMACEIEntAllProductsInstaller.mai 実行(アン-ター パメーニ、 マク市バル名> /2 パメーニン マク市バル名> /2 アイル マク市バル名> /2 アイル マク市バル名> /2 アイル マク市 アイル マクロ アイル	Q - 冊 ネットワーク全体 [2] - 田 ■ 100 [2]	⑦ パッケージの追加 パッケージを作成、編集します。		
	B) ₩ 100 [2]	パッケージ 政府 実行 通知 実行(2/4) P 実行パラメーター イメー 実行タイミング 褐度 マロホカアル名> /s - マロホカアル名> /s - 10 秒後 > マロホカアル名> - ソッチファイルモー・括実行する - 生物へ 次へう マホー アンセル	D ■ 100 [2] ZPイル名: EVEMAClientAllProductsInstaller.mai 展行パラメーター: /i < 応応力Tr4名> /quiet /norestart イメーラスクリプト (未没定) イメーラスクリプト の称込み ソールのあるフォルダーを開く 案行するタイミング: 前のフアイル実行から 60 (一) 秒 v 後	ок ≠р>セル



- パッケージの作成⑦
 - 実行ファイルの一覧に戻るので、「次へ」を押してください。
 - 実行権限、スケジュールはそのままに、「次へ」を押してください。



MC JIFX

- パッケージの作成⑧
 - オプションは指定せず、「次へ」を押してください。
 - 通知は必要に応じて設定し、「設定」を押してください。





- パッケージの作成⑨
 - 以上でパッケージの作成は完了です。
 - - 画面タイトルの「パッケージー覧」の左にあるボタンを押して、メニューに戻ってください。

😼 LanScope Ca	t・コンソール								40	- 2 ×
クライアント	ポリシー設定	環境設定	アカウント					3	1 · 🔳	?
資産	メ ログ	11 配布	() 电源	₩ 9-7-	構成変更	接続USB情報	A FXイン情報			
	ワーク全体 [2]	٩	🔿 শিभ শেগক	ケージー! - ジの一覧です	覧 1.					
e 🚅 1	00[2]				Q					G
			🗖 /(v	ケ 詳細	パッケージ名	i		設定日時	利用数	編集
				1	EVEMA			2016/03/04 00:24	0	
			< 1 @							>
		<	削除						j	300



- パッケージの配布①
 - 作成したパッケージを配布する設定を作ります。
 - メニューから「パッケージの配布」を選択してください。
 - パッケージの配布一覧が表示されるので、右下の「追加」ボタンを押してください。





- パッケージの配布②
 - 配布設定の名称を入力してください。例では、「EVEMAクライアント のインストール」としています。「次へ」を押してください。
 - 配布するパッケージとして、先ほど作成したパッケージ「EVEMA」の
 ラジオボタンにチェックを入れて、「次へ」を押してください。

😼 LanScope Cat - コンソール	- / ×	× 🕞 LanScope Cat - コンソール	- 2 ×
クライアント ポリシー設定 環境設定	ፖክዕンት 🚨 ? 🚇 🛠	クライアント ポリシー設定 環境設定 アカウント エー 国	■ ? ⊕ 🕿
資産 ログ 配布	● ●	資産 可 運 (1)	
Q 回 御 ネットワーク全体 [2] 回 弾 100 [2]	(ご) パッケージの配布 クライアントにパッケージを配布します。 配布設定名 パッケージ 配布設定の名前	C パッケージの配布 クライアントにパッケージの配布 クライアントにパッケージを配布します。 配 ■ 100 [2] 配布洗 配布するパッケージ この ■ 100 [2]	-
		B¢TD/(3/7->: EVEMA Q /(3/7	
<	<前へ	<前へ	++>セル



- パッケージの配布③
 - 配布したいクライアントにチェックを入れて「追加」ボタンを押し、右のグリッドに移動させたのち、「配布」ボタンを押してください。
 - これで配布の設定は完了です。
 - メニューから「パッケージの配布」を選択して、パッケージの配布一覧 を表示さえ、グリッドの右上にあるリロードボタンを押すと結果が更新 されます。グリッドの「完了」列が更新されたら、配布インストールが 完了したことがわかります。

🖓 LanScope Cat - コンソール	- 2 ×	🕞 LanScope Cat - Эруни, – 🖌 🗙
クライアント ポリシー設定 環境設定	ፖክሳጋንት 🚨 ? 🚇 🕿	
資産 ログ 配布	● ● ● ● 電源 ノモート 構成変更 接線USB/指線 Fメイン指線	画 画 画 ●<
Q ③ 働 ネットワーク全体 [2] ④ ● ● 100 [2]	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	() パッケージの配布一覧 パッケージの配布一覧 パッケージの配布一覧 パッケージの配布一覧 パッケージの配布一覧 パッケージの配布の覧 パッケージの配布の覧 パッケージの配布の覧 パッケージの配布の覧 パッケージの配布の覧 パッケージの配布の覧 パッケージの配布の覧 パッケージの配布の覧 パッケージの配布の覧 パッケージの配布の覧 パッケージの配布の覧 パッケージの配布の覧 パッケージの配布の覧 パッケージの配布の覧 パッケージのでののです。 マー ロー
	< 前へ 次へ > 【 配布 】 (キャンセル) .:ii	· 通時 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·



MOTEX



相次ぐ官公庁での個人情報流出

外部からの不正アクセスによる個人情報の流出だけではなく、内部関係者による 情報流出が発覚しています。マイナンバー制度の本格稼動を踏まえ、官公庁様・ 自治体様にはセキュリティ対策の強化が強く求められています。

発覚・公表日	発生組織	原因	内容
2015/6/1	日本年金機構	標的型攻撃	101万件の個人情報流出
2015/6/16	長野県上田市	標的型攻撃	流出は確認されず
2015/9/13	大阪府堺市	内部不正	68万件の個人情報流出
2015/9/18	神奈川県三浦市	内部不正	14万件の個人情報の不正持出し
2015/10/5	熊本県西原村	内部不正	18万件の個人情報の不正持出し
2016/3/2	岐阜県	内部不正	1万5000件の個人情報の不正持出しなど

2015年6月以降に発覚したセキュリティ事件

求められる「三層の構え」

総務省は「新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化に向けて」で 各自治体に対し新たなセキュリティガイドラインを提示しています。

① マイナンバー利用事務系 住民情報流出の防止

② LGWAN接続系とインターネット接続系 ネットワークの分離

③ 自治体情報セキュリティクラウド 高度な情報セキュリティ対策

①住民情報流出防止とは

端末からの**情報持ち出し不可設定**や端末への二要素認証の導入等を 図ることにより、住民情報流出を防ぐことが求められています。

自治体情報システム強靭性向上モデル 要件シート例 <住民情報流出防止 該当部分抜粋>

カテゴリ	個人番号 利用事務	LGWAN	インター ネット	対策内容	対応製品
	0	0	0	ソフトウェアの脆弱性対策や一般的なウイルス対策を実施すること。	LanScope Cat
	0	0		ID、パスワードのほかに認証方法を導入し二要素認証とすること。 アクセス権を正しく設定すること。	EVE MA
端末	0	0		端末操作の記録およびサーバ等のアクセス先の情報資源に対する操作 の記録をとり、不正な利用を発見できること。	LanScope Cat
			0	アクセスの記録を残して不正な利用を発見できること。	LanScope Cat
			0	標的型攻撃など未知のウイルスに備えたセキュリティ対策を行うこと。	-
			0	WEB閲覧、メール文、添付については細心の注意を行うこと。 (マルウェア、ランサムウェア※等の対策)	-
媒体	0	0	0	USBメモリ等の外部記憶媒体による端末からの情報持ち出しが できないように設定すること。	LanScope Cat



(2)ネットワークの分離とは

従来から行われてきた個人番利用事務系ネットワークの分離に加え LGWAN環境のセキュリティ確保を目的に「LGWAN接続系」と 「インターネット接続系」のネットワーク分離が求められています。





③高度な情報セキュリティ対策とは

インターネット接続系において、都道府県と市区町村が協力して インターネット接続口を集約した上で高度なセキュリティ対策 を講じることが求められています。





④二要素認証とは

「知識」、「存在」、「所持」の3つの要素のうち 2つ以上を組み合わせる必要があります。

知識	存在	所持
 パスワード パスフレーズ 暗証番号 など 	 バイオメトリクス認証 (指紋、静脈等) 	 ICカード USBトークン など



MOTEX

以上